

総務常任委員会記録

日時 令和8年7月24日（金）

場所 第一委員会室

午後 0 時 4 分 開 会

○伊藤欣哉委員長 ただいまから総務常任委員会を開会いたします。本日は全員出席であります。直ちに本日の会議を開きます。

それでは次第に従いまして、会議を進めさせていただきます。

1 政策提言の検証について

○伊藤欣哉委員長 最初に本日の委員会の趣旨についてご説明いたします。

令和7年9月定例議会において、本委員会が取りまとめ市長に提出いたしました公共施設等の適正化の推進について、令和8年度当初における予算措置の有無や、現在の取り組み状況について、当局より調査シートの回答をいただきました。本日は中間の評価検証といたしまして、この回答をもとに、当局へのヒアリングを行い、1回目の検証といたします。

それでは、調査票について、当局より補足説明をお願いいたします。

○財政課長 それでは政策提言をいただいた項目の中で現年度の取り組み予定内容を中心に、かいつまんでご説明をさせていただきます。

初めに1の基本的な考え方についてです。（1）施設の機能や地域的な背景、稼働率、急激に変化する社会情勢などを十分見極めた上で、施設の複合化や集約化、多機能化を緊急的かつ積極的に推進することにつきましては公共施設適正化実施方針の見直し時期を早めまして、令和8年3月に改定をさせていただいたところです。（3）今後の適正化を進める施設の全体像を早急に示し、市民への丁寧な説明を行うことにつきましては、公共施設適正化実施方針の見直しにおいてパブリックコメントを実施しまして、令和8年3月に改訂、公表をいたしました。また、令和8年2月24日に全議員の皆様を対象に勉強会でご説明をしたところです。さらに次の項目について関連をしますが、個別の施設については、平田総合支所を平田タウンセンターへ機能移転する案について、地域との意見交換を行いました。

続いて項目の二つ目、既存施設のあり方についての（1）利用者が増加するよう、様々な分野と連携しながら施設用途の拡大を図ることにつきましては稼働率の低い羽遊心館について、公共施設適正化懇談会で出た意見をもとに、Web会議等が可能な軽易な環境整備を実施。また、景観の美しさを生かして写真撮影可能な施設としてPRすることで施設利用者の拡大を図っておりまして、現在はその効果を確認しているところでございます。今後は各施設所管課からの聞き取りにより、現状を把握し、その効果について検証してまいります。

提言の3項目め、実利用施設の利活用についての（1）1円入札やマイナス入札などの好事例を取り入れながら、積極的に売却を進めることにつきましては積極的に売却を進めるために、購入の引き合いがあり、不動産鑑定評価を実施し購買したものの、応札者がなく不調となっている未利用施設について、従来は経費の面から基本未実施としておりましたが、現在は不動産鑑定の再評価を実施しております。この再評価実施の結果前回より不動産鑑定評価が低くなるケースが多くなっておりまして、次回購買時に最低入札価格を低く設定するこ

とが可能となっておりますこうした最高再評価による公売は今年度1件実施予定となっております。現状では未利用施設は、購入の引き合いがあった場合に、公売に向けて、不動産鑑定評価等準備を始めていますが今後は公売実施状況を見ながら引き合いがない未利用施設に優先順位をつけて、積極的に公売にかけることを検討いたします。また公売実施にあたり最低入札価格を設定するために不動産鑑定評価を実施いたします。その不動産鑑定評価の結果、旧食肉処理場は評価額が0円となりまして、最低入札予定価格を1円に設定して公売を行ったところでございます。マイナス入札を含めた議会の議決を経た未利用施設の減額譲渡の可能性については今後検討してまいります。

最後、4項目め、施設の解体についての（1）市の財政負担が軽減されるよう、有利な財源を活用して解体を計画的に進めることにつきましては、解体工事は優先順位をつけて毎年度実施していくこととしております。解体工事費の財源には施設の場所や廃止に至った経緯から、活用できる財源をできるだけ活用しており、主に交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債や過疎対策事業債を充当して実施しております。

以上でご説明を終わります。

○伊藤欣哉委員長 ただいまの説明を踏まえ、質問ご意見ございますか。

大壁洋平委員。

○大壁洋平委員 ひらたタウンセンターのことについてなんですけど、現庁舎を空き施設にするのは忍びないため現体制の継続を希望すると書いていますけども、これを受けてどのように考えているのか教えてください。

○財政課長 地域の要望といたしましては、やはり建物を残して、その施設がですね、いずれかの目的で使っていただきたい、地域の活性化に寄与していただきたい、そのような意見を伺っておりますので、市としては、現在の庁舎の中にですね、そういった利活用をしていただけのような団体、企業などがいないから、情報収集しながら、地域の要望について、できる限り対応していきたいなというふうには考えております。

○大壁洋平委員 忍びないためっていう何か理由としては弱いですし、これを許してしまうと他の施設も全部許すことになるのかなと私は思うんですね。その辺ちょっともう少しちゃんと利活用されて、もっといい、有効な、先ほどおっしゃったようにいろんな人を探して、もっといい利活用の仕方あるならいいんですけども、ここだけの話じゃないと思うんですけど、これを許してしまうと全部の施設そういう内容になってしまうので、その辺はもう少しちゃんと決断をしてはつきりと言って、酒田市としてはこう考える、そうしたらどうしますかって、もうちょっと踏み込んだ形でしていかないと、なあなあになって結局適正化にならないのかなというふうに思います。その辺をやっていただきたいなというふうに思います。

○財政課長 おっしゃるとおりかと思います。ですが地域からそのような要望がございますので、まずはそのような要望を受けとめて、市としても努力をして、その努力の結果、そういった利活用がなければ、それは地域に理解していただいてきちんと除却をしていく、もしくはタウンセンターの方に支所機能を移していくそういったことを進めてまいりたいと考えております。

○大壁洋平委員 きちんとなあなあにせず、スケジュールをきちんと決めていただいて進めていただきたいなというふうに思います。

もう一つなんですけども、民間事業者が利用しやすく積極的な情報提供方法のところで賃貸料、貸付料を得たとしても多額な経費が必要となるというふうにあるとあるんですけども、この辺って条件次第で、私、結構その貸していただきたいという話は結構聞いていて、ただその設備面とか直すどうのこうのっていうのは別にそれはもう現状のまま渡してあと業者側で何とかするなら、別にDIYしようが何しようが任せてしまえばいいのかなというふうに思うんですけども、この貸したとしても多額な経費が必要になるというのは、どのような根拠になるんでしょうか。

○**財政課長** 例えば施設が老朽化しているということになると、耐用年数もかなり経過しているとなれば、お貸ししたところで、その施設を貸してる期間維持しなくてはいけない。これはやはり市の責任になろうかと思います。ですから大規模改修が必要であるとか、修繕箇所が大変多くなっている、そういった施設につきましてはそれを貸してしまうことが、今回の公共施設等適正化の主たる目的につながらない可能性がある。つまり、市の税金を使ってですね、今後もその施設を維持していかなくちゃいけない。それに見合う収入があれば別ですし、大壁洋平委員がおっしゃったように借りている団体が、そういった費用も全部支払ってくれるのであれば、それは市としても考えていかなければならないというふうに考えております。

○**大壁洋平委員** 大体承知しました。そうですねやっぱり、一回借りられてしまうと除却しにくくなったりとか、売りにくくなったりという面もあるというのを今聞いてて思ったんで、わかりました。

全体的に一生懸命取り組まれてるなっていう印象も受けますし、今後アセットマネジメントに向けて、もっと更なる活躍を期待することを意見と申し上げて終わります。

○**伊藤欣哉委員長** 他にございませんか。

ないようですので、次に進んでもよろしいですか。

2 その他

○**伊藤欣哉委員長** 皆さんの方から何かございますか。

(なし)

○**伊藤欣哉委員長** 当局から何かございますか。

(なし)

○**伊藤欣哉委員長** 本日の委員会を通じまして現状や課題について確認ができました。本委員会として12月の第2回目のヒアリングを実施し、本日整理した課題に対するその後の進捗状況について再度検証を行う予定です。当局におかれましては、本日出た意見や各提言項目の意図・目的を改めて整理していただき、課題点などについては12月まで、さらに踏み込んで進めていただくようお願いいたします。

それではこれもちまして総務常任委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後 0 時 1 5 分 閉 会